

中綴じの場合も無線綴じと同様に
ページ順の配置でご入稿下さい



お家で挑戦！ はじめの ビオトープづくり

～生きものを呼んでみませんか～

この冊子は、狛江市生物多様性地域戦略で掲げた
「生きものをよぶ庭づくりプロジェクト」の一環として制作しました。
名 称：『お家で挑戦！ はじめてのビオトープづくり』
発 行 日：令和5年3月
発 行 所：狛江市
〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
編 集：(株)自然教育研究センター
刊行物番号：R4-34

はじめに



「うちに生きものが来てくれたらいいな」「広いお庭がないから、ビオトープは作れないな」と思ったことはありませんか。小さな鉢植え1つからでも始められるのがビオトープの魅力です。この冊子では、はじめての方も気軽にできる方法もくわしく紹介しています。ビオトープのある暮らしを楽しんでみませんか？

ビオトープづくりのポイント

「ビオトープ」って？
 地域の野生の生きものが自然と集まって暮らす空間という意味です。生きものが暮らしていれば、池はもろろん花壇や原っぱであっても「ビオトープ」ということができます。
 ※「ビオ=Bio=生きもの」「トープ=Top=場所」という意味で、ドイツ語が語源です。

生きものを呼びこむために
 3つのポイントが大切です。
 ①餌（水や食べ物）があること
 ②休憩場所があること
 ③産卵できる環境であること
 お家の環境や好みからビオトープを選びましょう。

case 1. 花を楽しむプランター

創 **休憩** **産卵**

花の蜜はチョウの餌になります。葉っぱは休憩・産卵場所に利用されます。

case 2. エコスタック

創 **休憩** **産卵**

形や大きさの違う石を積み、隙間にカナヘビが休みにくることもあります。

case 3. 水鉢

創 **休憩** **産卵**

トンボが水の中に産卵したり、葉っぱにとまって休憩したりします。

case 4. 水をためたお皿

創 **休憩** **産卵**

野鳥が水浴びをしたり、水を飲みにきたりすることがあります。

自分に合うビオトープを知りたい

「動物」と「植物」どちらも楽しみたい

動物に会いたい No
 植物に会いたい Yes

動物は年を通してよびたい？

季節限定で楽しみたい No
 何が来るかな？ Yes

ひತ್ತりのビオトープはどれかな...

花を楽しむプランター

生きものが一番多く見られるかもしれません。

生きもの種類が多い ★★
 スペース広さが必要 ★★
 お手入れ楽にできる ★★

水鉢

暖かい季節には色々な生きものがやってきます。

生きもの種類が多い ★★
 スペース広さが必要 ★★
 お手入れ楽にできる ★★

水をためたお皿

鳥好きの方におすすめてです。

生きもの種類が多い ★★
 スペース広さが必要 ★★
 お手入れ楽にできる ★★

エコスタック

狭いスペースから始められ、お手入れも比較的簡単です。

生きもの種類が多い ★★
 スペース広さが必要 ★★
 お手入れ楽にできる ★★

ビオトープづくりの挑戦!

case1：花を楽しむプランター

狭いスペースでも始められ、いろいろな生きものが期待できます。

- 準備するもの
プランター / 鉢底石 / 培養土 / 花苗 / ジョウロ / シヤベル
- やっつきそうな生きもの
チャウ / ハチ / テントウムシ / バッタ / クモ など



①プランターに土をいれる

- ・水掛けや通気性をよくするため、最初に鉢底石を入れます。
- ・その上から培養土をプランターの階層度に入れます。

土運びのポイント

- ・培養土には肥料等が含まれているため、植え直す植物に合わせて運びます。



②花の苗のレイアウトを決める

- ・草丈の高さや色味などから、好みな位置を決めます。
- ・苗同士を中心に寄せて置き、空いたスペースを埋めます。



苗運びのポイント

- ・季節に合わせて、向かい合ったもの、植える苗同士の生育条件が同じものを運びます。

③植え付ける

- ・苗のポットがむき出しにならないよう、土をポットの土ごとその穴に置き、苗はポットの土ごとその穴に埋めます。

お手入れのポイント

- ・土の表面が乾いてきたら、鉢底から水が出るくらいたっぷり水をあげます。
- ・このとき葉や花になるべく水がかからないようにします。
- ・水やりは夏場は昼、冬場は夕方まで行わないでください。
- ・花が咲き終わったあと、花がらを摘み取るなど、長く花を楽しめます。
- ・培養土には肥料等が含まれているので、肥料のあつまり過ぎに気をつけましょう。



④水をあげて完成!

- ・鉢底からしっかりと水が出てくるまで水やりをします。
- ・苗の根元が見えるようであれば、土を足します。



case3：水鉢

トンポを見たい方におすすめです。

- 準備するもの
容器 (市販のスイレン鉢など) / 荒木田土 / 苗 / シヤベル
- やっつきそうな生きもの
トンポ / バッタ / クモ など



①レイアウトする

- ・植物の苗をポットごと容器に入れて、高さなどを確認します。

②水をそっと入れたら、完成!

- ・容器に対して8割ほど水を入れ、落ち着くまで2~3日置いておきます。
- ・水を入れる際は、土をまき上げないようにそっと入れます。

苗運びのポイント

- ・草丈の違う植物を組み合わせることで、植物の多様性が生まれ、より多くの生きものを利用しやすくなります。
- ・抽水植物 (水面から葉が立ちあがるもの) と浮葉植物 (水面に葉が浮いているもの) の組み合わせがおすすめです。



②植え付ける

- ・荒木田土で高さを調節しながら、植え付けます。



お手入れのポイント

- ・濾紙に日かるとなる場所を管理しましょう。
- ・夏場は水が温められてお湯になったり、蒸発してなくなったりしないように、場所を変える・照射量を和らげる等をほめるなど、自宅の状況に合わせて対応しましょう。



ポウワ対策のポイント

- ・夏場はポウワ (蚊の幼虫) が湧きやすくなります。
- ・ポウワを食べてくれる生きもの (メダカなど) を一緒に育てる場合は、雨で水が溢れて生きものが溺れられないように気をつけましょう。

case4：水をためたお皿

鳥を見たい方におすすめです。

- 準備するもの
容器 (鉢皿や「バードバス」として市販されているものなど) / 水
- やっつきそうな生きもの
スズメ など



①容器に水を入れて、完成!

- ・鳥が安心して利用できるよう、入通りの少ないところに設置しましょう。



お手入れのポイント

- ・水の乾いて無くなっていたら足しましょう。
- ・水の代わりに砂を使用することもできます。

※ここで紹介しているのは、一つの例です。自分で工夫しながら楽しんでみましょう。

気をつけよう

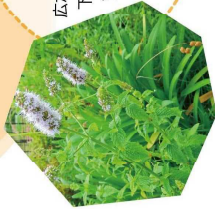
ビオトープをつくる際は、自分が使いたい生きものの特徴を知って、地域の生態系に影響が出ないようにお話ししましょう。

周囲に広がりやすい生きものではありますか？

植物の中には、風や鳥が種が運ばれることで、意図せず周囲に広がってしまう種類があります。種ができてから花がらを摘むなど、植物に合わせた管理を行ないましょう。

たとえば...

「ミント」は野生で広がりやすい植物です。地下茎で増えていくので、地面に直接植える場合はその場所から広がらないように気をつけましょう。



最後まで飼いつづけることができますか？

一度飼育した生きものを自然界に放すことで、病気が広がる、交雑するなどの問題がおきます。責任を持って最後まで飼いつづけてみましょう。

たとえば...

「ヒメタカ」は、鑑賞用に品種改良されたメダカです。見た目がきれいで人気の高い生きものですが、自然界では在来のメダカと交雑するなどの問題が起きています。



外来種は使わないほうがいい？

お店で購入できる生きものでも、取り扱いに注意が必要な「外来種」という場合もあります。どういうところに気をつけたら良いかを知った上で、上手に付き合いたしましょう。



たとえば...

「ホテイアオイ」は、お店で買える水生植物で、外来種です。繁殖力が強く、川などで水流阻害等の問題が起きています。安易に水辺に持ち込まないようにしましょう。

外来種とは？

もともとの生息地域ではない場所に、人によって運ばれて定着した生きもののことを「外来種」といいます。海外からやってきたものだけでなく、国内でも生息の地域からやってきたものは外来種です。外来種に対して、もともとの地域に生息している種を「在来種」と呼びます。



外来種が、在来種を食へる・在来種と交雑する・在来種の生息場所を奪うといった問題を起こしています。また生態系を壊すだけでなく、私たちの生活に直接影響を及ぼすことがあります。

生きもの観察のすすめ

生きもの名前や観察の仕方がわからなくても、大丈夫です。まずは下の例を参考に、どんな挑戦してみよう。

じっくりみる

まずはよく見てみましょう。小さな生きものを発見できるかもしれません。また虫メガネや顕微鏡などの道具を使うのもおすすめです。



記録する

簡単に始められるのが、写真に残すことです。名前を調べる手がかりにしたり、月ごとに比較したりと、貴重なデータになります。



行って比較する

身近な環境と自分がつくったビオトープを比較することで、お家でのビオトープづくりの参考になります。



ビオトープにやってくる生きものは、必ずしも意図したものとは限りません。クモやハチなど、自分が苦手とする生きものがお家にやってくるかもしれません。



しかし、そんな生きものもビオトープの仲間を学んで、みなさんが楽しめる範囲で上手に自然と共存していきましょう。

おわりに

柏江市では、みなさんが実際につくったビオトープやそこにやってきた生きもの情報を集めています。



みなさんのお気に入りの写真を、ぜひQRコードから投稿してください。投稿していただいた写真は、市のホームページやこまeco通信で紹介させていただきます。

